

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立東与賀小学校

4月から5月にかけて、文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童・生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育の改善を図るとともに、児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力と学習状況の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

調査期日 令和8年4月23日（木）

（注）質問調査については、オンライン方式（CBT方式）のため、調査日を分散して実施

調査の対象学年 小学校第6学年

調査の内容

（1）教科に関する調査

国語、算数

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。

調査問題では、上記①と②を一体的に問うている。

（2）質問調査（1人1台端末を用いたCBT方式）

児童生徒に対する質問	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
学校に対する質問	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

教科に関する調査結果及び考察について

・全国学力・学習状況調査は、小学6年生及び中学3年生を対象に、国語、算数・数学、英語について実施されています。

・また、調査問題は、各教科の一部の内容について出題されているものであり、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、「学校教育活動の一側面」です。

したがって、調査結果を見る際には、この点をご理解いただいた上で、ご覧ください。

質問
調査

佐賀市学校教育ビジョンに関わる設問より（キーワード：自律・尊重・創造・主体性・当事者意識）

《質問領域：主体的・対話的で深い学び》

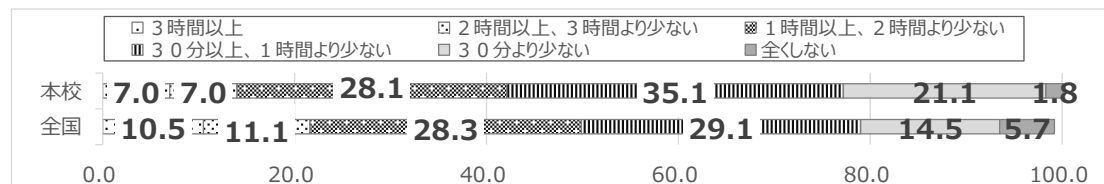
（注）数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（％）

質問 番号	質問事項	本校 (%)	全国 (%)
39	前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	80.7	77.6
42	学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	89.5	85.7
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	91.2	91.4

《質問領域：主体的な学習の調整、学習習慣》

22	分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	89.5	79.4
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	80.8	78.4

23 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間勉強していますか



本校の調査結果 ※◎（強み）、●（課題）

- ◎ 自ら課題に向き合い、学び方を工夫しながら学習に取り組もうとする姿が見られます。
- ◎ 対話や協働を通して学びを深めようとする意識も高い傾向が見られます。
- 学びを振り返りながら、自分に合った学び方を選択・調整し、学習をさらに自分ごととして進めていく力を高める必要があります。
- 家庭学習や読書を習慣化し、自ら学び、考える機会を増やしていく必要があります。

《質問領域：自己肯定感、幸福感 等》

8	自分には、よいところがあると思う	91.2	85.6
10	将来の夢や目標を持っている	96.4	81.8
15	学校に行くのは楽しいと思う	93.0	85.7
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	96.5	92.5

《質問領域：向社会性》

14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.3	95.8
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	86.0	80.1

本校の調査結果 ※◎（強み）、●課題

- ◎ 多くの児童が学校生活を前向きに捉え、自分のよさを感じながら生活している様子が見えられます。
- ◎ 人や社会の役に立ちたいという思いが高く、他者や社会への関心が育っています。
- 将来の夢や目標と、現在の学びや生活とのつながりを実感できるような支援が必要です

調査結果を受けて

【学校では】

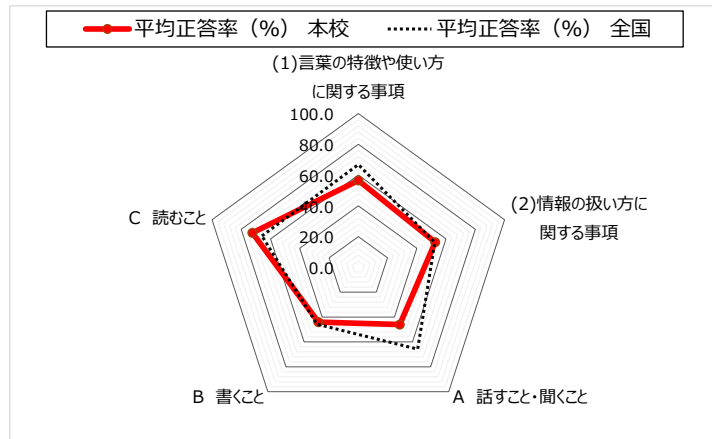
- 自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す力を育むため、課題解決のために自分に合う学び方やペースを選択できるような授業づくりに取り組みます。
- 学習を振り返る機会を充実させ、自分に合った学び方を考え、調整する力を育みます。
- 伴走支援（①どうしたの？②あなたは どうしたい？③私に何かできることはある？）で関わる姿勢を大切にします。

【ご家庭では】

- 子どもの話に耳を傾け、「どうしたの？」「あなたは どうしたい？」と考えを引き出す対話を大切にしてください。
 - 結果だけでなく挑戦する過程にも目を向け、「何か手伝えることはある？」という伴走の姿勢で見守ってください。
- 結果だけでなく、考えたことや挑戦したことにも目を向け、認め励ます声かけをお願いします。

《学習指導要領の内容別 平均正答率》

学習指導要領の内容		平均正答率 (%)	
		本校	全国
知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	56.5	66.8
	(2)情報の扱い方に 関する事項	52.6	52.3
思考力、 判断力、 表現力 等	A 話すこと・聞くこと	46.0	65.8
	B 書くこと	44.0	45.7
	C 読むこと	72.4	65.9



《問題形式別 平均正答率》

問題形式	平均正答率 (%)	
	本校	全国
選択式	53.4	61.9
短答式	55.2	62.6
記述式	55.2	54.9

結果 ※◎ (強み)、●課題

◎ 漢字や語句など基礎知識は、概ね身に付いています。

◎ 無解答率が低く、最後まで粘り強く取り組む姿勢が見られます。

● 情報を整理して読み取ったり、複数の資料を関連付けて説明したりする力、また、読み取った内容を基に、自分の考えを整理したり、根拠を明確にして表現したりする力には課題が見られます。

《正答率の高い問題》【強み】

問題 番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
3 三 (2)	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	86.2	76.4
2 三ア	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	79.3	80.0

《正答率の低い問題》【課題】

問題 番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
2 四	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	24.1	33.5
1 二 (1)	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる	31.0	60.2

調査結果を受けて

【学校では】

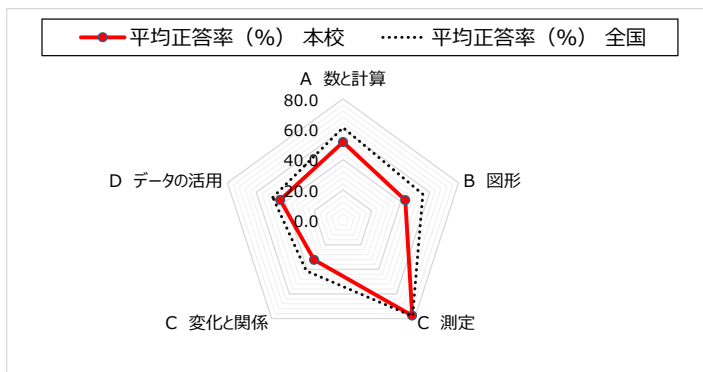
- 子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながらかき書き機会を増やします。
- インタビュー、案内や紹介など、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしていきたいと思います。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。
- 読書を大切にしていきたいと思います。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろいろな本を読み、いろいろな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。

《学習指導要領の内容別 平均正答率》

学習指導要領の内容	平均正答率 (%)	
	本校	全国
A 数と計算	51.5	61.1
B 図形	43.1	55.3
C 測定	77.6	78.1
C 変化と関係	32.2	41.1
D データの活用	43.5	48.6



《問題形式別 平均正答率》

問題形式	平均正答率 (%)	
	本校	全国
選択式	49.7	56.0
短答式	51.1	59.7
記述式	39.1	48.5

結果 ※◎ (強み)、●課題

◎ 基本的な計算問題や、図や表などのデータを活用する問題を解く力は、概ね身に付いています。

◎ 無解答率が低く、最後まで粘り強く取り組む姿勢が見られます。

● 二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力や、分数の意味や分数の掛け算や割り算の仕方を考え、それらの計算をする力の定着に課題が見られます。

《正答率の高い問題》【強み】

問題番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
3 (1)	小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる	93.1	94.5
4 (4)	帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる	77.6	74.9

《正答率の低い問題》【課題】

問題番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
4 (3)	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる	6.9	17.9
2 (4)	基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる	19.0	34.2

調査結果を受けて

【学校では】

- 式から答えを出すだけでなく、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたり、式から生活場面を想起させたりしながら、式、絵や図、具体的場面を行き来させるようにします。
- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。

【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 算数好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし分けて割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。